

一般財団法人 共立国際交流奨学財団

平成 31 年度事業報告書

(平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)

I. 財団の管理・運営

寄附金の受入

株式会社共立メンテナンスからの寄附金（使途不特定、但し一部は株式会社共立メンテナンス奨学基金奨学金 35 名分）及び個人 2 名からの寄附金（現地支給奨学金）を受け入れました。

会議の開催

臨時理事会（決議の省略の方法による）（平成 31 年 4 月 9 日）

理事の職務権限規程改定の件が承認されました。

第 26 回理事会（令和元年 6 月 3 日）

平成 30 年度事業報告、決算報告及び公益目的支出計画実施報告が承認されました。主たる事務所移転の件が承認されました。第 22 回評議員会の招集が承認されました。

第 22 回評議員会（令和元年 6 月 24 日）

平成 30 年度事業報告、決算報告及び公益目的支出計画実施報告が承認されました。

第 27 回理事会（令和 2 年 3 月 2 日）

令和 2 年度事業計画、収支予算及び令和 2 年度奨学生 50 名が承認されました。第 23 回評議員会の招集が承認されました。

第 23 回評議員会（令和 2 年 3 月 16 日）

令和 2 年度事業計画及び収支予算が承認されました。

内部統制の整備

（「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」第 90 条第 4 項第 5 号及び同法施行規則第 14 条に規定する体制の整備）

理事の職務の執行が効率的に行われることを確保する体制を整備するため、平成 31 年 4 月 9 日開催の臨時理事会において理事の職務権限規程の改定を決議し、適正な意思決定に基づく円滑な業務執行を図ることとしました。

Ⅱ．奨学金支給事業（継続事業１）

留学生奨学金の支給

一般財団法人共立国際交流奨学財団奨学金（月額 10 万円・期間 2 年間）を、平成 30 年度生 12 名及び平成 31 年度生 15 名、合計 27 名に平成 31 年 4 月から令和 2 年 3 月まで支給しました。

㈱共立メンテナンス奨学基金奨学金（月額 6 万円・期間 1 年間）を、平成 31 年度生 35 名に平成 31 年 4 月から令和 2 年 3 月まで支給しました。

現地奨学金を、ベトナム 3 名、ミャンマー 3 名、カンボジア 3 名、ラオス 3 名計 12 名に支給しました。

現地奨学生選考会の開催

奨学候補生現地（カンボジア）選考会 （令和元年 8 月 8 日）

日本の教育機関（日本語学校）に進学を希望する応募者 3 名のうち、当日参加した 2 名に対し面接審査を行った結果、1 名が令和 2 年度㈱共立メンテナンス奨学基金奨学金奨学候補生に選ばれました。（うち 1 名辞退）

奨学候補生現地（ベトナム）選考会 （令和元年 8 月 10 日）

日本の教育機関（日本語学校）に進学を希望する応募者 6 名のうち、当日参加した 5 名に対し面接審査を行った結果、2 名が令和 2 年度㈱共立メンテナンス奨学基金奨学金奨学候補生に選ばれました。（うち 1 名辞退）

奨学候補生現地（マレーシア）選考会 （令和元年 8 月 22 日）

日本の教育機関（日本語学校）に進学を希望する応募者 15 名のうち、書類選考を通過し当日参加した 6 名に対し面接審査を行った結果、2 名が令和 2 年度㈱共立メンテナンス奨学基金奨学金奨学候補生に選ばれました。

奨学候補生現地（インドネシア）選考会 （令和元年 8 月 24 日）

日本の教育機関（日本語学校）に進学を希望する応募者 18 名のうち、書類選考を通過し当日参加した 7 名に対し面接審査を行った結果、2 名が令和 2 年度㈱共立メンテナンス奨学基金奨学金奨学候補生に選ばれました。（うち 2 名辞退）

奨学候補生現地（ミャンマー）選考会 （令和元年 9 月 12 日）

日本の教育機関（日本語学校）に進学を希望する応募者 1 名に対し、面接審査を行った結果、1 名が令和 2 年度㈱共立メンテナンス奨学基金奨学金奨学候補生に選ばれました。

選考委員会の開催

第 27 回選考委員会 （令和 2 年 2 月 27 日）

奨学金対象校から推薦のあった令和 2 年度応募者 320 名及び現地（ベトナム・マレーシア・ミャンマー）選考会において選考された 4 名について、審査の結果、一般財団法人共立国際交流奨学財団奨学金 15 名、(株)共立メンテナンス奨学基金奨学金 35 名の合計 50 名を令和 2 年度奨学生候補者として選考しました。

Ⅲ. 国内・外の留学生に対する生活・学習情報提供事業（継続事業 2）

財団紹介のパンフレット『一般財団法人共立国際交流奨学財団（紹介・情報案内）Vol.26』、情報誌『アジア文流 Vol.45、46』、留学生のための日本生活案内『留学生生活手帳（第 8 版）』、留学生のための就職情報誌『共立・桜 Vol.20』を出版し、関係機関、他財団、大学、専門学校、日本語学校及び奨学生などに配布しました。

Ⅳ. 国際交流活動への支援（継続事業 3）

イベントの開催

第 20 回「日本人学生の『アジア体験』コンテスト」

当財団主催、文部科学省・外務省・産経新聞社後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを令和元年 7 月 6 日、東京ガーデンパレスを会場として開催しました。

標記コンテストでは、対象となる 3 カ国において、①日本語教育体験②就業体験のどちらかを行うインターンシップ企画の募集を行いました。

書類選考による一次審査では 13 名の応募者の中から 10 名が通過し、面接審査を行った結果、10 名全員が入賞し「夢・アジア体験賞」として 1 人 20 万円の賞金が授与されました。（カンボジア 5 名、マレーシア 1 名、ミャンマー 4 名）

入賞者 10 名は、令和 2 年 1 月末までに、それぞれが交渉した受け入れ先でインターンシップを体験し、その報告書を提出しました。

第 22 回「日本体験コンテスト in 大韓民国」

当財団（東京本部・ソウル事務所）主催、文部科学省・在大韓民国日本国大使館・全日本空輸株式会社ソウル支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを令和元年 7 月 13 日、大韓民国ソウル特別市ロッテホテルを会場として開催しました。

標記コンテストでは、大学院生・大学生を対象として、日本での「学術・研究体験」部門と「職業体験」部門の二部門で企画書の募集を行いました。

書類選考による一次審査では 25 名の応募者の中から 15 名が通過し、面接審査を行った結果、15 名全員が入賞し「夢・日本体験賞」として 1 人 25 万円の賞金

が授与されました。（学術・研究体験部門 5 名、職業体験部門 10 名）

入賞者 15 名は、令和 2 年 2 月 20 日までにそれぞれの日本体験を実施し、その報告書を提出しました。

第 7 回「日本語体験コンテスト in プノンペン」

当財団主催、文部科学省・在カンボジア日本国大使館・全日本空輸株式会社プノンペン支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを令和元年 8 月 8 日、カンボジア・プノンペン市 SUNWAY HOTEL を会場として開催しました。

標記コンテストは、日本語を現地の日本語教育機関で学んでいる学生等を対象に実施し、応募総数 83 名のうち 49 名が当日参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、18 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 5 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行（令和 2 年 1 月 19 日～26 日）に参加し、日本の大学訪問、京都小旅行等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

第 12 回「日本語体験コンテスト in ホーチミン」

当財団主催、文部科学省・在ホーチミン日本国総領事館・全日本空輸株式会社ホーチミン支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを令和元年 8 月 10 日、ベトナム・ホーチミン市 HONG BANG 国際大学を会場として開催しました。

標記コンテストは、日本語を現地の日本語教育機関で学んでいる学生等を対象に実施し、応募総数 71 名のうち 51 名が当日参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、18 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 5 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行（令和 2 年 1 月 19 日～26 日）に参加し、日本の大学訪問、函館小旅行等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

第 5 回「日本語体験コンテスト in クアラルンプール」

当財団主催、文部科学省・在マレーシア日本国大使館・全日本空輸株式会社クアラルンプール支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを令和元年 8 月 22 日、マレーシア・クアラルンプール市 JW Marriott Hotel を会場として開催しました。

標記コンテストは、日本語を現地の日本語教育機関で学んでいる学生等を対象

に実施し、応募総数 54 名のうち 47 名が参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、19 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 5 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行（令和 2 年 1 月 19 日～26 日）に参加し、日本の大学訪問、函館小旅行等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

第 6 回「日本語体験コンテスト in ジャカルタ」

当財団主催、文部科学省・在インドネシア日本国大使館・全日本空輸株式会社ジャカルタ支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを令和元年 8 月 24 日、インドネシア・ジャカルタ市 PULLMAN JAKARTA INDONESIA を会場として開催しました。

標記コンテストは、日本語を現地の日本語教育機関で学んでいる学生等を対象に実施し、応募総数 61 名のうち 38 名が当日参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、16 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 5 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行（令和 2 年 1 月 19 日～26 日）に参加し、日本の大学訪問、京都小旅行等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

第 9 回「日本語体験コンテスト in ヤンゴン」

当財団主催、文部科学省・在ミャンマー日本国大使館・全日本空輸株式会社ヤンゴン支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを、令和元年 9 月 12 日ミャンマー・ヤンゴン市 NOVOTEL YANGON MAX を会場として開催しました。

標記コンテストは、日本語を現地の日本語教育機関で学んでいる学生を対象に実施し、応募総数 73 名のうち 59 名が当日参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、16 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 5 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行（令和 2 年 1 月 19 日～26 日）に参加し、日本の大学訪問、函館小旅行等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

第7回「日本語体験コンテスト in バンコク」

当財団主催、文部科学省・在タイ日本国大使館・全日本空輸株式会社バンコク支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを令和元年9月14日、タイ王国・バンコク市 PATHUMWAN PRINCESS HOTEL MF を会場として開催しました。

標記コンテストは、日本語を現地の日本語教育機関で学んでいる学生等を対象に実施し、応募総数 117 名のうち 76 名が当日参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、19 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 5 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行（令和 2 年 1 月 19 日～26 日）に参加し、日本の大学訪問、函館小旅行等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

第17回「日本語体験コンテスト in 成都」

当財団主催、文部科学省・在重慶日本国総領事館・全日本空輸株式会社成都支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを、令和元年9月21日、中華人民共和国・四川省成都市ソフィテルワンダ成都を会場として開催しました。

標記コンテストは、日本語を現地の日本語教育機関で学んでいる学生等を対象に実施し、応募総数 88 名のうち 60 名が当日参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、20 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 5 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行（令和 2 年 2 月 4 日～10 日）に参加予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となりました。入賞者へは、賞品旅行に代わり 1 人 15 万円の賞金を授与する予定です。

助成金の支給

日本人学生の「国際ボランティア支援基金」

日本人学生（高校生・専門学校生・短期大学生・大学生）を対象に、アジアに関する「国際ボランティア」の企画を募集し採用された企画に助成金の支給（一口 15 万円・今年度採用者 2 名）を行いました。

採用者は、令和 2 年 3 月までに企画を実施し、その報告書を提出しました。

研修会の開催

奨学生及び一般学生（留学生・日本人学生）も参加し、相互理解と国際親善交流を促進するための研修会を実施し、訪問地におけるホームステイ、史跡・歴史的建造物見学、ディスカッション等を通して、日本の文化・歴史・自然についても理解を深めました。

<各研修会報告>

2019 年度 公立国際交流奨学財団奨学生研修会

開催地：岡山県 倉敷市

開催期間：令和元年 6 月 7 日～9 日 2 泊 3 日

参加者：一般財団法人公立国際交流奨学財団 平成 30・31 年度奨学生 27 名
(株)公立メンテナンス奨学基金 平成 31 年度奨学生 1 名（当日参加）

内容：歴史的文化的の名所を巡るフォトロゲイニングなど

2019 年 8 月 北海道・函館研修会

共催：一般財団法人公立国際交流奨学財団、一般財団法人北海道国際交流センター

開催地：北海道 函館地域

開催期間：令和元年 8 月 23 日～27 日 4 泊 5 日

参加者：留学生 11 名（10 名は当財団からの参加者）

内容：ホームステイ、ファーム体験など

2019 年 8 月 北海道・標津研修会

共催：一般財団法人公立国際交流奨学財団、標津町エコ・ツーリズム交流推進協議会

開催地：北海道 標津町

開催期間：令和元年 8 月 29 日～9 月 3 日 5 泊 6 日

参加者：日本人学生・留学生 12 名

内容：ホームステイ、サーモン科学館見学、ジャングルカヌー体験、郷土料理作り、知床遺産視察など

2019 年 9 月 沖縄県・東村研修会

開催地：沖縄県 東村

開催期間：令和元年 9 月 4 日～9 日 5 泊 6 日

参加者：日本人学生・留学生 36 名

内容：ホームステイ、マングローブカヌー体験、世界遺産見学など

2020 年 2 月 沖縄県・伊江島研修会

開催地：沖縄県 伊江島

開催期間：令和 2 年 2 月 15 日～20 日 5 泊 6 日

参加者：留学生 14 名

内容：ホームステイ、給食交流会、首里城見学など

2020 年 2 月 北海道・標津研修会

共 催：一般財団法人共立国際交流奨学財団、標津町エコ・ツーリズム交流推進協議会

開 催 地：北海道 標津町

開催期間：令和 2 年 2 月 20 日～25 日 5 泊 6 日

参 加 者：留学生 16 名

内 容：ホームステイ、サーモン科学館見学、郷土料理作り、
流氷・バードウォッチング、雪遊び体験、ゲレンデスキー体験など

V. 日本語教育施設の設置及び運営

カンボジアのシェムリアップに設立した合弁会社 Hikari-Kyoritsu International School co.,Ltd において、日本語教育を実施しました。

VI. 留学生寮の設置及び運営

留学生の生活支援を行うため、つつじヶ丘男子学生会館・相模大野学生会館の国際交流会館 2 棟の管理及び運営を、また全国 7 地域（札幌・仙台・首都圏・名古屋・大阪・京都・福岡）で「学習奨励寮」の運営を行いました。